

令和 2 年度

事業計画書

公益財団法人 三重県水産振興事業団

令和2年度事業計画

I. 目的

水産業に関わる社会的、経済的基盤の整備開発及び漁業経営の安定に係る事業を推進し、もって時代の要請に即応した安全で安心な水産物を安定的に供給すること並びに水産業の健全な発展を図るとともに地域経済に寄与することを目的とする。

II. 法人を取り巻く経営環境

当法人は、次のような経営環境にありますが、関係機関との連携を図りながら、栽培漁業にかかる円滑な推進に向け、種苗生産等を通じて、県内の水産振興のため各事業に取り組むこととする。

1 外部的な要因として

- ①債券の超低金利状況が継続している
- ②行政機関の財政逼迫により委託費等が削減されている

2 内部的な要因として

- ①種苗生産施設の老朽化に伴う修理、改修費などの経費が増大している
- ②健全種苗の量産化や新たな種苗生産を開発育成する必要がある

III. 令和2年度事業（公益目的事業）

1. 水産種苗生産供給事業

県民に安全で安心な水産物を安定的に供給するため、水産動植物の種苗生産及び中間育成を行い種苗供給する。

2. 水産生物量産化技術試験事業

種苗生産の量産化に技術的課題がある魚種の技術開発試験を行う。

3. 水産振興対策事業

水産資源の維持増大を図るため、漁協が実施する種苗放流事業等に助成する。

4. 啓発普及事業

水産振興に係る協議、調査及び啓発普及などを行う。

5. 資源増大実証事業

水産動植物の種苗生産、中間育成及び放流を実施するとともに、市場での放流魚の混入率を調査し、その効果を明らかにする。

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業

伊勢湾沿岸地域の漁協等が実施する種苗生産・放流事業に助成する。
また、放流用種苗の中間育成を行い種苗供給する。

7. 伊勢湾水産振興事業

伊勢湾沿岸地域の水産資源の維持増大を目的とした放流とその効果調査及び安定的な漁業経営の育成対策並びに海域の水産動植物の生息域の保全、改善に関する事業に助成する。

IV. 事業内容

1. 水産種苗生産供給事業【予算額 221,760 千円】

1) 種苗生産事業

(1) 三重県栽培漁業センター（以下「浜島センター」という。）において、県から委託されたヒラメ、クルマエビ、ヨシエビ、ナマコ、アワビの種苗生産を行い、県からの指示により種苗を供給する。

その他にアコヤ貝、ピース貝、ガザミを種苗生産する。

浜島センター【56,341 千円】（県から受託）

浜島センター

(千尾、千個)

種苗名	県 委 託 事 業					アコヤ貝種苗生産 飼育管理試験事業		伊勢湾 資源調査 試験事業	種苗生産事 業
	ヒラメ	クルマエビ	ヨシエビ	ナマコ	アワビ	アコヤ貝	ピース貝	ガザミ	アワビ 中間育成
サイズ	30mm	17mm	17mm	7mm	25mm	2mm	2mm	5mm	25mm
計 画	200	3,100	3,500	40	76	1,190	270	1,819	224

(2) 三重県尾鷲栽培漁業センター（以下「尾鷲センター」という。）において、アワビ、マダイ、トラフグ、カサゴ、マハタ、ヒロメの種苗生産及び中間育成を行う。

マハタ種苗生産については、三重県水産研究所（以下「水研」という。）から基礎技術の移転を受け、東紀州活性化のため、種苗生産及び中間育成試験を実施する。また、出荷魚の全数に VNN ワクチンの接種を行う。

尾鷲センター 【138,584 千円】

尾鷲センター

(千尾、千個)

種 苗 生 産 事 業								
種苗名	アワビ			マダイ	トラフグ	カサゴ	マハタ	ヒロメ種糸
サイズ	20mm	25mm	30mm	30mm	20mm	50mm	130mm	—
計 画	30	401	223	600	277	64	170	4,500m

※25mmアワビの内224千個を浜島センターで中間育成する。

2) 種苗供給事業 【26,835 千円】

両センターで生産した種苗を要望のある市町、漁協等に供給する。

2. 水産生物量産化技術試験事業【予算額 12,599 千円】

1) マハタ、カワハギ種苗生産技術高度化試験事業【2,500 千円】

マハタの種苗生産(中間育成)以降の育成期における形態異常の顕在化率を調査し、その要因について検討する。

また、カワハギの稚魚の飼育条件の検討を行い、早期採卵技術及び種苗生産技術の開発研究を実施する。これら調査研究を水研へ委託する。

2) クルマエビ成熟制御技術開発事業【1,950 千円】(JST から受託)

国内の研究機関とタイ王国との共同研究において、クルマエビ等の基礎技術を開発する。

浜島センターにおいて、クルマエビを用いた稚エビから親エビに至るまでの養成技術を改良するため、クルマエビの成熟・産卵を人為的に誘導させる、ホルモン投与方法や飼料の開発について研究を実施する。

3) アコヤ貝種苗生産・飼育管理試験事業 (県から受託)

アコヤ貝種苗生産緊急事業 【4,450 千円】

水研が調達した親貝を用いて、アコヤ貝(交雑、日本産)及びピース貝の種苗生産を緊急的に実施する。

4) 海女漁業資源増大技術開発試験事業

アワビ親貝の成熟管理技術試験事業【699千円】(県から受託)

海女漁の重要な漁業資源となっているアワビ類の環境変化に対応した資源回復及び安定的な漁獲を推進するため、種苗生産の安定化と効率的な種苗生産をめざし、親貝が採苗に適した成熟状態を保つ水温管理技術の開発試験を実施する。

5) 広域種資源造成支援事業【3,000千円】(全国豊かな海づくり協会事業)

広域に回遊する魚種の資源造成が円滑に行えるよう平成23年度に太平洋南海域栽培漁業推進協議会(千葉県～宮崎県)が設立され、神奈川・静岡・愛知・三重の4県は、トラフグを対象として共同で取り組んでいる。

当法人では、トラフグ種苗を8万尾生産し、6万尾を伊勢湾内に放流する。

3. 水産振興対策事業【予算額 3,671千円】

1) 外海域水産振興事業【3,671千円】

沿岸漁業の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業等や県が整備した浮魚礁の管理に助成する。

また、もうかる漁業対策として、真珠養殖業におけるプロジェクト事業の進行管理を担う。

4. 啓発普及事業【予算額 3,600千円】

栽培漁業の円滑な推進を図るため、伊勢湾地域栽培漁業推進協議会及び三重外海域栽培漁業推進協議会を開催し、放流用種苗の中間育成、放流場所、放流効果等に関する協議を行う。

また、水産物消費拡大促進協議会等の実施する魚食普及活動に協賛、助成するとともに、県民や児童による種苗放流への支援、成果報告会の開催及びみえ栽培漁業ニュースやホームページなどを通じて、県民へ水産生物資源の維持増大の重要性について情報提供を行う。

さらに、水産庁の事業である水産多面的機能発揮対策事業の推進にかかる業務を、県、市町、他関係機関と共同して取り組むこととする。

5. 資源増大実証事業【予算額 47,182 千円】

1) 地域展開促進事業【26,424 千円】

尾鷲センターで生産した、マダイ種苗 60 万尾を、同センターで 60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾口から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、水研の指導のもと、関係者と協力し、主要市場における漁獲や価格及び混入率等の調査を実施する。

2) 特定海域展開事業【9,996 千円】

浜島センターで生産した、ヒラメ種苗 20 万尾を 3ヶ所で 70～80mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、主要市場で漁獲及び混入率等の調査を実施する。

3) 資源回復計画促進事業【10,762 千円】

尾鷲センターで生産したトラフグ種苗 28 万尾を、3ヶ所で 50～60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、水研が行う主要市場で漁獲及び混入率等の調査に協力する。

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業【予算額 89,990 千円】

1) 伊勢湾海域生物中間育成事業【81,518 千円】

伊勢湾北部中間育成場においてクルマエビ種苗 155 万尾、ヨシエビ種苗 250 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

また、伊勢湾南部中間育成場では、ヒラメ種苗 8 万尾、トラフグ種苗 6 万尾、クルマエビ種苗 155 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

なお、一部中間育成場で収容仕切れない 100 万尾のヨシエビについては、浜島センターで中間育成を行う。

2) 伊勢湾海域資源増大事業【3,295 千円】

伊勢湾海域の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業等に助成する。

3) 伊勢湾資源調査試験事業 【5,177 千円】

- (1) ガザミ種苗を浜島センターで生産、中間育成をして要望のある海域へ放流する。
- (2)、伊勢湾北部中間育成場において、二枚貝の陸上飼育試験として、水質・飼料の環境の安定対策や適性育成の試験を実施する。
- (3) 沿岸漁業の漁獲量が減少傾向にある中、マコガレイを伊勢湾に試験的に放流する。

7. 伊勢湾水産振興事業 【予算額 38,360 千円】

1) 海域環境対策事業 【5,000 千円】

伊勢湾海域の環境保全を図るために実施する流木等ゴミ被害対策や底質改善事業、藻場・干潟の再生事業及び環境保全の啓発普及事業等に助成する。

2) 水産資源管理増大事業 【5,000 千円】

伊勢湾海域の水産資源管理や資源増大を図るため、重要貝類の種苗放流事業、資源管理対策事業及び資源保護に必要な漁場造成事業等に助成する。

3) 漁業経営安定対策事業 【28,360 千円】

漁業経営の安定化を図るため、伊勢湾内の漁協等が実施する各種の共同利用施設整備事業等に助成する。

令和2年度 収支予算書

(単位：千円)

科 目	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増 減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益	47,157	46,984	173
基本財産（振興）受取利息	19,846	19,824	22
基本財産（栽培）受取利息	17,788	17,816	-28
基本財産（伊勢湾）受取利息	9,523	9,344	179
特定資産運用益	26,370	26,414	-44
特定資産受取利息	26,370	26,414	-44
事業収益	180,825	188,679	-7,854
受託事業収益	65,940	61,558	4,382
生産物等収益	114,885	127,121	-12,236
受取補助金等	2,100	2,100	0
受取地方公共団体等補助金	2,100	2,100	0
受取負担金	20,794	20,616	178
受取負担金	20,794	20,616	178
雑収益	2,001	3,322	-1,321
受取利息	2,001	3,322	-1,321
経常収益計	279,247	288,115	-8,868
経常費用			
事業費	382,600	409,949	-27,349
役員報酬	4,400	4,400	0
給料手当	98,522	103,145	-4,623
賃金	38,499	40,015	-1,516
退職給付費用	18,106	10,385	7,721
賞与引当金繰入額	6,298	7,216	-918
福利厚生費	20,463	21,301	-838
旅費交通費	3,351	3,365	-14
通信運搬費	1,155	1,225	-70
減価償却費	8,711	9,723	-1,012
消耗品費	24,991	24,654	337
修繕費	9,590	9,600	-10
印刷製本費	350	350	0
燃料費	6,550	6,626	-76
光熱水料費	27,836	27,052	784
借損料	4,660	4,767	-107
原材料費	2,870	2,070	800
餌料費	23,617	24,034	-417
種苗費	26,291	21,216	5,075
新聞図書費	316	316	0
租税公課	9,251	9,250	1
保険料	970	970	0
会費	45	40	5
助成金	33,360	52,040	-18,680

科 目	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増 減
負担金	2,490	14,673	-12,183
委託費	6,960	7,660	-700
研修費	50	50	0
備品費	0	400	-400
手数料	2,898	3,406	-508
管理費	4,650	4,675	-25
役員報酬	400	400	0
給料手当	2,014	2,092	-78
賃金	322	322	0
福利厚生費	448	462	-14
会議費	150	150	0
旅費交通費	450	450	0
通信運搬費	50	50	0
消耗品費	122	80	42
印刷製本費	124	124	0
燃料費	20	20	0
新聞図書費	30	30	0
保険料	115	115	0
会費	157	157	0
負担金	125	100	25
研修費	33	33	0
手数料	20	20	0
雑費	70	70	0
経常費用計	387,250	414,624	-27,374
評価損益等調整前当期経常増減額	-108,003	-126,509	18,506
投資有価証券評価損益	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0
評価損益計	0	0	0
当期経常増減額	-108,003	-126,509	18,506
経常外増減の部			
受取負担金	0	180,000	-180,000
経常外収益計	0	180,000	-180,000
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	180,000	-180,000
当期一般正味財産増減額	-108,003	53,491	-161,494
一般正味財産期首残高	380,389	295,317	85,072
一般正味財産期末残高	272,386	348,808	-76,422
指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	0	0	0
特定資産評価損益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,287,180	5,210,072	77,108
指定正味財産期末残高	5,287,180	5,210,072	77,108
正味財産期末残高	5,559,566	5,558,880	686

令和 2 年 度 収 支 予 算 内 訳 表

(単位：千円)

Table with 15 main columns: 科目 (Category), ① 種苗生産供給事業 (Seed Production and Supply), ② 水産生物量産化技術試験事業 (Aquatic Organism Quantification Technology Testing), ③ 水産振興対策事業 (Aquaculture Promotion Countermeasures), ④ 啓蒙普及事業 (Publicity and Popularization), ⑤ 資源増大実証事業(栽培漁業推進基金) (Resource Expansion Demonstration Project (Cultured Fisheries Promotion Fund)), ⑥ 伊勢湾栽培漁業推進事業(伊勢湾栽培漁業推進基金) (Ise Bay Cultured Fisheries Promotion Project (Ise Bay Cultured Fisheries Promotion Fund)), ⑦ 伊勢湾水産振興事業(伊勢湾水産振興基金) (Ise Bay Aquaculture Promotion Project (Ise Bay Aquaculture Promotion Fund)), 公益目的事業会計合計 (Total of Public Purpose Project Accounting), 法人会計 (Corporate Accounting), 内部取引 (Internal Transactions), 合計 (Total). Rows include items like 一般正味財産増減の部 (General Net Assets Increase/Decrease), 経常収益 (Regular Income), 経常費用 (Regular Expenses), 役員報酬 (Director Compensation), 給料手当 (Salary and Allowances), 賞金 (Bonuses), 退職給付費用 (Retirement Benefit Expenses), 福利厚生費 (Welfare Expenses), 旅費交通費 (Travel and Transportation Expenses), 通信運搬費 (Communication and Transportation Expenses), 減価償却費 (Depreciation Expenses), 消耗品費 (Consumables Expenses), 修繕費 (Maintenance Expenses), 印刷製本費 (Printing and Binding Expenses), 燃料費 (Fuel Expenses), 手数料 (Fees), 管理費 (Management Expenses), 役員報酬 (Director Compensation), 給料手当 (Salary and Allowances), 賞金 (Bonuses), 福利厚生費 (Welfare Expenses), 会議費 (Meeting Expenses), 旅費交通費 (Travel and Transportation Expenses), 通信運搬費 (Communication and Transportation Expenses), 消耗品費 (Consumables Expenses), 印刷製本費 (Printing and Binding Expenses), 燃料費 (Fuel Expenses), 新聞図書費 (Newspaper and Book Expenses), 保険料 (Insurance Premiums), 会費 (Membership Fees), 負担金 (Contributions), 研修費 (Training Expenses), 手数料 (Fees), 雑費 (Miscellaneous Expenses), 経常費用計 (Total Regular Expenses), 評価損益等調整前当期経常収益 (Adjusted Regular Income Before Valuation Gains/Losses), 投資有価証券売却損益 (Gains/Losses from Sale of Investment Securities), 投資有価証券評価損益等計 (Total Investment Securities Valuation Gains/Losses), 当期経常増減額 (Current Period Regular Income/Expense Change), 経常外増減の部 (Extraordinary Income/Expense Section), 経常外収益 (Extraordinary Income), 受取利息 (Interest Income), 経常外収益計 (Total Extraordinary Income), 経常外費用 (Extraordinary Expenses), 当期経常外増減額 (Current Period Extraordinary Income/Expense Change), 当期一般正味財産増減額 (Current Period General Net Assets Change), 一般正味財産増減 (General Net Assets Change), 一般正味財産期末残高 (General Net Assets End Balance), 指定正味財産増減 (Designated Net Assets Change), 指定正味財産期末残高 (Designated Net Assets End Balance), 正味財産期末残高 (Net Assets End Balance).